平成２８年度　岩見沢市地域公共交通活性化協議会
事業計画（案）

資料6

□ 地域公共交通再編実施計画の検討･協議

現在策定を進めている「岩見沢市地域公共交通網形成計画」の具体化を進めるため、市内バス路線の再編や、デマンド型の公共交通の導入を念頭に、面的な公共交通ネットワークの再構築を進め、平成 28 年度内の地域公共交通再編実施計画の策定を目指します。

（1） 地域公共交通再編実施計画検討のための業務委託について

「地域公共交通再編実施計画」の検討・協議のため、「岩見沢市生活交通ビジョン」や「岩見沢市地域公共交通網形成計画」、これまで岩見沢市及び本協議会が実施した各種調査等を踏まえ、具体的な市内バス路線の再編や、デマンド型の公共交通の導入などについて、路線や地区、時間帯や便数といった運行計画を詳細に検討し、費用対効果なども踏まえながら、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークについて検討していくことが必要です。

そのため、地域公共交通に関する専門的知識を有し、調査・分析や計画検討に精通しているコンサルタント会社に業務を委託することで、円滑に事業を進めます。

なお、業務委託については、主に次のことを委託します。

① 市内バス路線の再編案の検討

既存公共交通網における現状の利用実態を踏まえ、市内バス路線における重複区間の効率的な統廃合や、バス利便性向上に資する乗り継ぎの改善、費用対効果等を考慮した、市内バス路線の再編について検討します。

② 実証運行

平成 27 年度に実施した実証運行等を踏まえ、本格運行に向けたデマンド型公共交通の実証運行や、市街地の移動の利便性向上に資する公共交通の実証運行等について検討、実施します。

実証運行等を踏まえ、デマンド型公共交通の運行のあり方について検討するとともに、北村・栗沢地区の市営バスなどについて、バス利用実態と比して非効率な運行がみられる地域に対し、需要に応じた見直しや新たな公共交通を検討します。

※実際の運行については、平成 27 年度と同じく交通事業者と協議。

③ 利用促進策の検討

「であえーる」を活用したバス待ち環境改善に資するまちなか交流拠点の創出や、わかりやすいバスマップや時刻表の作成、その他バス利用環境の向上に資する利用促進策について、その実現可能性と併せて検討します。

④ 地域公共交通再編実施計画の検討

①～③の各検討を踏まえ、「岩見沢市地域公共交通網形成計画」の実現に向けて、利便性が高く、将来的に持続可能な公共交通の構築のため、再編計画を検討します。

（2） 岩見沢市地域公共交通活性化協議会及び専門部会の開催について

地域公共再編実施計画の策定に向けて、具体的な計画内容等の協議・議論をするため、地域公共交通活性化協議会を、年3回程度開催します。また、計画の策定に必要な、専門的な調査及び検討について協議・議論をするため、地域公共交通活性化協議会専門部会を、必要に応じて開催します。